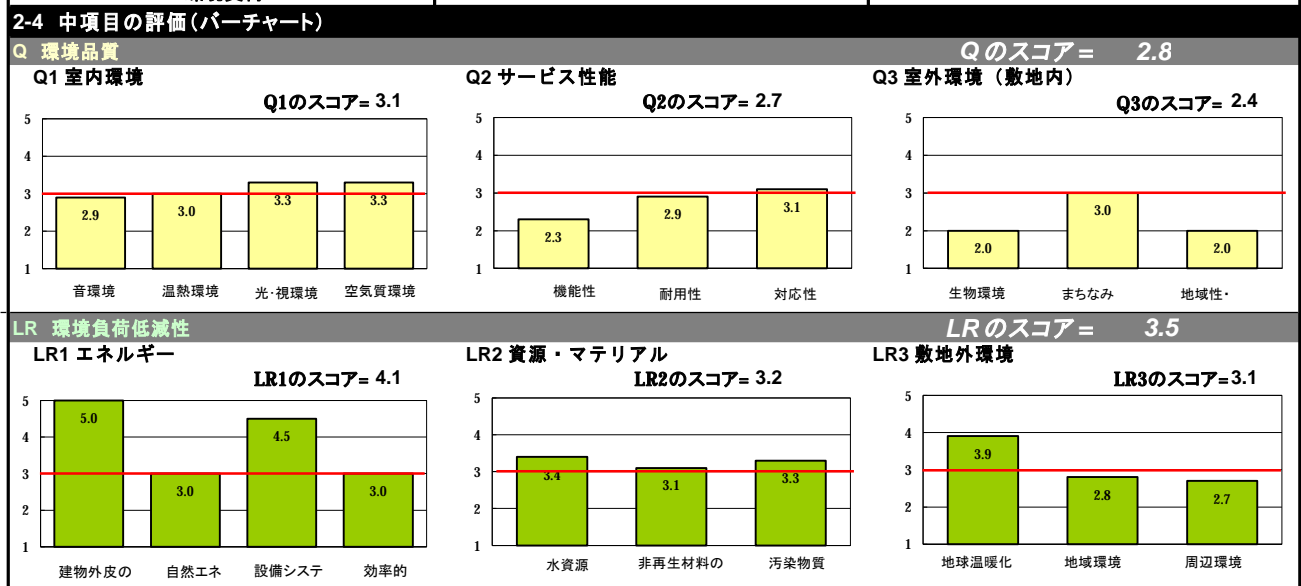
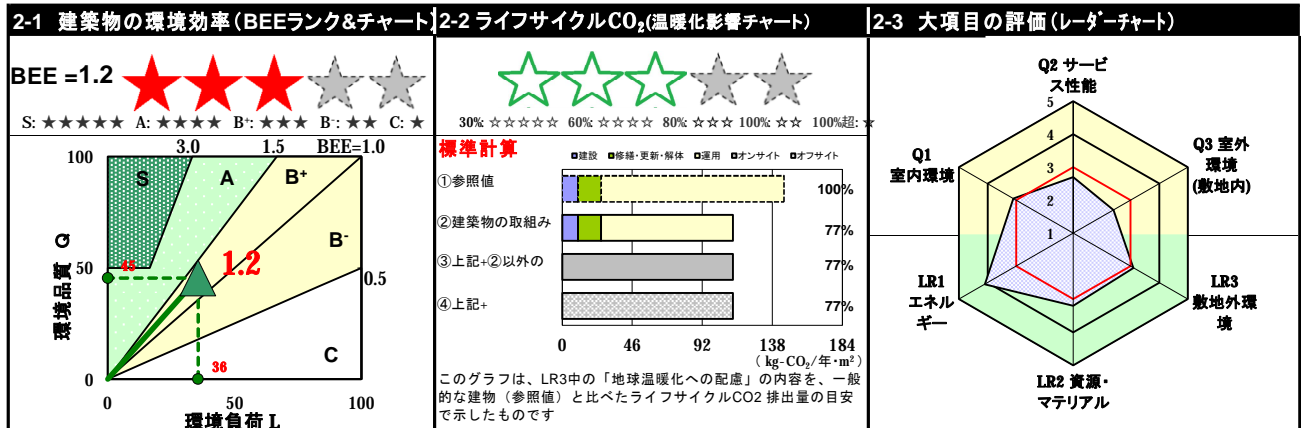


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)河内長野計画新築工事	階数	地上7F
建設地	大阪府河内長野市木戸	構造	S造
用途地域	第二種中高層住居専用地域、防火地域	平均居住人員	250 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	学校,病院,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年3月 予定	評価の実施日	2025年11月22日
敷地面積	6,566 m ²	作成者	中野泰輔
建築面積	2,424 m ²	確認日	2025年12月2日
延床面積	9,549 m ²	確認者	岡田宗修



3 設計上の配慮事項		
総合 ライフサイクルCO ₂ 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。		その他 特になし。
Q1 室内環境 2.5%≦[昼光率]。 そして、自然換気有効開口面積が居室床面積の1/15以上。 また、ビル全体の禁煙が確認されている。	Q2 サービス性能 ①非常用発電設備を備えている。 そして、0.1≦[壁長さ比率]<0.3。 また、配線は配管内に設置されます。ケーブルラックにより仕上材を痛めずに更新・修繕ができる。	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー BPlm= 0.71。 そして、BEIm= 0.72。	LR2 資源・マテリアル 節水マなどに加えて、節水型便器も採用している。 そして、LGS使用している。 また、ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率77%。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称		(仮称)河内長野計画新築工事					
建設地		大阪府河内長野市木戸					
用途／区分		病院 学校(大学等)					
【評価結果】	CASBEE 総合評価	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>				B+	
①	CO2削減	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>				4	
②	みどり・ヒート アイランド対策	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>				2	
③	断熱性能	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>				5	
	<div>建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル</div> <div>住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分</div>	評価対象外				評価対象外	
④	エネルギー消費性能	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>				5	
	<div>建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル</div> <div>住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分</div> <div>非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分</div>	評価対象外				評価対象外	
⑤	自然エネルギー直接利用	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>				—	
	再生可能エネルギー	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
	利用施設の導入状況	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】							
項目	評価内容					スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮					3.9	4
② みどり・ヒートアイランド対策							
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出					2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3. 2 敷地内温熱環境の向上					2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環 2. 2 温熱環境悪化の改善					3.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制					5.0	5
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化					4.5	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用					3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。					報告する 報告しない	報告しない
その他							
先進的技術の導入	技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項			ライフサイクルCO2排出率77%。 BPI _m =0.71、BEI _m =0.72。				